

13. フリオの2度目の情熱

大学生のフリオはサッカー選手を目指していましたが、交通事故で大けがをして、夢を諦めなければなりませんでした。しかし、そんな中、フリオはギターと出会います。そして、フリオは・・・。

スペインのマドリードの少年、フリオが初めて好きになった少女の名前はマリアでした。フリオは「アベ・マリア(Ave Maria)」が歌いたくて、教会の聖歌隊に入ろうとしました。しかし、教会の司祭は、彼の歌を聞くと、「君は歌うよりサッカーをした方がいいよ」と言って、フリオを聖歌隊に入れませんでした。

フリオは子どもの頃からサッカーが好きだったので、その後は、ますますサッカーに熱中しました。彼はいつも人々の中心にいるのが好きでした。そこで、サッカーでもゴールキーパーを選びました。

学校のサッカーチームでは、フリオは、自称「学校の歴史の中で一番のゴールキーパー」でした。大学でも法律を学びながら、サッカーを続けました。そして、世界でも有名なサッカーチームの一つであるレアル・マドリードの青年チームに入ることができたのです。

フリオは、プロのサッカー選手として、将来が期待されるようになりました。しかし、そんな時突然、彼のサッカー人生は終わってしまいました。20歳の誕生日の前夜、交通事故で大けがをしたのです。この事故で背骨の神経が傷つき、フリオは胸から下の感覚がなくなってしまいました。その状態から回復して、再び歩けるようになるまでに2年かかりました。

フリオにとっては最も不幸な日々でした。しかし、看護師からもらった1本のギターがフリオを救いました。看護師は、ギターの練習をすると指に力が付くと考えたのです。ギターを弾きながら、フリオは短い曲や歌詞を書き始めました。初めのうち、フリ

オの観客^{かんきゃく}は父親と母親だけでした。フリオは二人に、「僕はいつか、大きな音楽祭で歌うよ」と言っていました。

1968 年、25 歳のフリオは、実際にスペインのベニドルム音楽祭^{おんがくさい ゆうしょう}で優勝しました。そして、その時の歌、自分で作詞作曲^{さくしきさっきょく}した「人生は同じように続く (La Vida Sigue Igual)」で、プロの歌手としてデビューしました。フリオのデビュー曲はスペインの音楽チャートで1位になり、多くの国民^{こくみん}に愛される大スターになりました。その後、フリオの歌がスペインだけでなく、世界中の国々で愛されるようになったことは、皆さんがご存じの通りです。

フリオ、すなわちフリオ・イグレシアス(Julio Iglesias)は 14 カ国語で 80 枚以上のアルバムを出し、世界中の 600 都市で 5,000 回のコンサートを行い、3 億枚以上のレコードが売れました。3 億枚というのは、ビートルズ(The Beatles)、エルビス・プレスリー(Elvis Presley)、マイケル・ジャクソン(Michael Jackson)の次に多い記録^{きろく}です。フリオは、「世界で最も売れたラテンシンガー」としてギネスブックに記録^{きろく}されています。

「初めてギターを弾いて、私は音楽を知った。そして、音楽への情熱^{じょうねつ}が私の人生になった」と、フリオは後に言っています。サッカーから音楽へ。フリオの二つの情熱の間には、交通事故^{こうつうじこ}による大けがとの闘^{たたか}いがありました。

フリオの歌には愛の歌が多いのですが、人生を歌ったデビュー曲には、大けがとの闘^{たたか}いが描^かかれています。

「苦しみと喜び 戦^{たたか}いと平和^{へいわ} 人生にはいつも生きる理由がある 戦う理由がある」
(「人生は同じように続く」より)

単語リスト：

聖歌隊（せいかたい）Đoàn hát thánh ca

司祭（しさい）Linh mục

自称（じしょう）Tự xưng

救う（すくう）Cứu

音楽祭（おんがくさい）Lễ hội âm nhạc

デビュー Lần biểu diễn đầu tiên trong sự nghiệp
(ra mắt)

音楽チャート（おんがくチャート）Bảng xếp
hạng âm nhạc

すなわち Tức là

ラテンシンガー Ca sỹ châu Mỹ La tinh

ギネスブック Sách Guinness

情熱（じょうねつ）Lòng nhiệt tình

描く（えがく）Vẽ nên